



くすぐりとらっぷ!
フイーナと100のマジックハンド

風来の団
2018

届いて、癒やしの光…

リカバー!!



…ふう、助かったぜ。
ありがとう、
フィーナちゃん

やっぱりプリーストが
仲間にいるのっていいよな。
多少の無理が利くから
効率よくお宝探しが出来るぜ



お役に立てて光栄です！
でも、みなさん決して
無理をなさらないで下さいね？

あたしが得意とするのは
あくまで回復と補助だけ
ですから…

立派なブリストへの修行の一環として
教会から旅立ち世界各地を巡って
困ってる人々に手を差し伸べる旅：

あたしはその途中に
立ち寄った街で知り合った
トレジャーハンターの男の人達の
お手伝いをする事になりました

えーと、目的地はダンジョンの
ここらへんだと思ったんだが…
おお、あったあった!!

ここだよフィーナちゃん！
見てくれ、この穴の向こうだよ！！

……随分と狭い通路ですね。
ここが酒場で説明頂いた
場所ですか？



そこにあったのは
岩壁にぽっかりと開いた穴。
高さは、あたしの身長プラス20センチ
と言った所でしょうか。



いえ、気になったのは高さよりも
むしろ横幅の狭さ…

ああ。俺達の持つお宝探知機が、
この細い通路の向こうに
強烈に反応してるんだ。
そいつを戴こうと
ここまで来たはいいが……

メンバーには
この狭い通路を
通れそうなのが
いないんだよねえ

なるほど
これは皆さんの体格では
ちよつと難しいですねえ……

と、言う訳で頼む！

この隙間の向こうにあるお宝を確認して
可能なら回収してきて欲しいんだ!!



で、でも…

回復魔法専門のあたしじゃ
壁の向こうに魔物がいたら
一人じゃ戦えないし…

頼む！

フイーナちゃんしか

頼れる子がないんだよ！！

…
!!

くっ

ひ



そう言われたら
仕方ありません!!

ここはあたしに
お任せ下さい!!

キラーン

「フィーナちゃんにしか頼めない」
…そう言われると舞い上がって
何でも引き受けちゃうのが
あたしの悪い癖でした



この頼られると断れない性格を
直さないと痛い目に遭い続けるから
早く改めろって司祭様に何度も
注意されてるって言うのに
一向に治る気配はありません…

それじゃあ
行つてきまつ……!!

むいゅん

胸が、若干邪魔ですね……
いえ、気を取り直して

ふんっ!!

にゅん♡

……

……

お尻も、つかえ気味
ですね……

うわ……し
ほんとに狭いですね……

身体を横向きにして
やっと通れる幅の通路を
カニ歩きの要領で進んでいく。
最初は何か仕掛けがないかと
慎重になってたけれども
その気配はなく、あたしは早く壁の向こうへ
たどり着くべく歩幅を広げる事にしました



いたたっ！
この壁、あちこちに
出っ張りがあるじや
ないですか

でもまあこれなら
なんとか身体を振って……
ん？



ちょうど真ん中辺りまで進んだ所で
壁に無数の亀裂と不自然な穴が
開いてるのに気付きました

それも、両方に……!!

これは…

えっ…

と、穴の一つに
手を伸ばそうとした
その時でした…!!





ぎゃあ
あああ
あゝ

うね

うね

てぞ”

tz"

ゆき

45

3.

もっ

穴の奥の方からなにやら魔法の波動を感じた……その後、一呼吸置いてからぬるううううううっ！と蛇の様な動きで無数の手が現れました

し、しまった!!
やっぱトラップ!?

ワッ!!

きゃー!!

人間のソレよりも太くて大きめの
黄色い管から延びてゐるみたいなの
マジックハンドの手のひらが
一斉にあたしの方向を向く



まさか、そ、その手で
殴りつけでもするつもり
……え？



二斉攻撃に身を固め
後ろにずり下がろうと身体をひねり
来るべき攻撃に備える、のですが…

無数の手はあたしを
グーで殴るでもなく
外に押し出す出もなく。
指をわしゃわしゃと動かしながら
身体中にもぐり込み
あたしをくすぐりはじめました





おーい！
だ、大丈夫か
フイーナちゃん！

どうした!?
一体何が起きて
るんだ!?

ひきいいっ!!
い、いひあああひ、

そっ、そうです！
今のあたしには仲間がいるんでした！
くすぐり責めがあんまりにも
あんまりなので、忘れちゃってた!!
早く…早く助けて、助けて



ちよほほほほはおおっ!?
たひゅ、ひ、たひゅけへへえええ

手が、手がひやははははは!!
くひゅぐりやは、

んはははあ!!

みんな、早……きたひゅっ……
ひゃふへれっへへへへへへへへへ

こっ…声を出そうと
必死で喋ろうとするたんびに
くすぐる場所を変えて
言葉を遮ろうとしないでおおお!!



やらやだもおおおおっ!!
もおおおおおおおっ!!

笑い声を無理矢理怒声にしてしまえば
堪えられるかと思っただけどそんな事は
全然なかった。

とにかくこれは無理!
耐えられない!
ある意味痛みの方が
耐えられるレベルです

どおしたりや
いいひよっ!?のよはひや
ひやひやひひひや
あはははははははっ!!

身体がバラバラに碎けそう...
そう思ったあたしはお宝を諦めて
引き返そうと振り返ります。が...

視界に入ってきたのは
狭い空間を埋め尽くさんばかりの
マジックハンドの群れが、
我も我もとくすぐり責めに
参戦しようとする追いかけてくる光景でした



みんなに援護を頼もうにも
攻撃魔法を放たれたら
私も巻き込まれる!!
直接攻撃も狭すぎて無理、てゆーか
あたし回復専門!!

こうなったらイチかバチか
マジックハンドの比較的少ない
奥側へ進むしかないよっ……!!



どうしよう……どうしよう……どうしよう……
もオほんと、どおしよおおおっ!!?

みんなに援護を頼もうにも
攻撃魔法を放たれたら
私も巻き込まれる!!

直接攻撃も狭すぎて無理、てゆーか
あたし回復専門!!



頭の中かまとまらないなりに、
対策を思い浮かべはするものの、
結局こんな狭い所であたし一人じゃ
このマジックハンドの群れを
どうこうするのは幾ら考えた所で
無理だった



こうなったらイチかバチか
マジックハンドの比較の少ない
奥側へ進むしかないっ……!!



そう覚悟を決めたあたしは
ひくひく痙攣する身体を
引っ張るようにしながら
再び奥へと向かいます

覚悟を決めたあたしは
ひくひく痙攣する身体を
引っ張るようにしながら
足を動かしはじめました

くっ…は、はなれっ…
離れ…てっ!!

はっ
い

いっ
っ



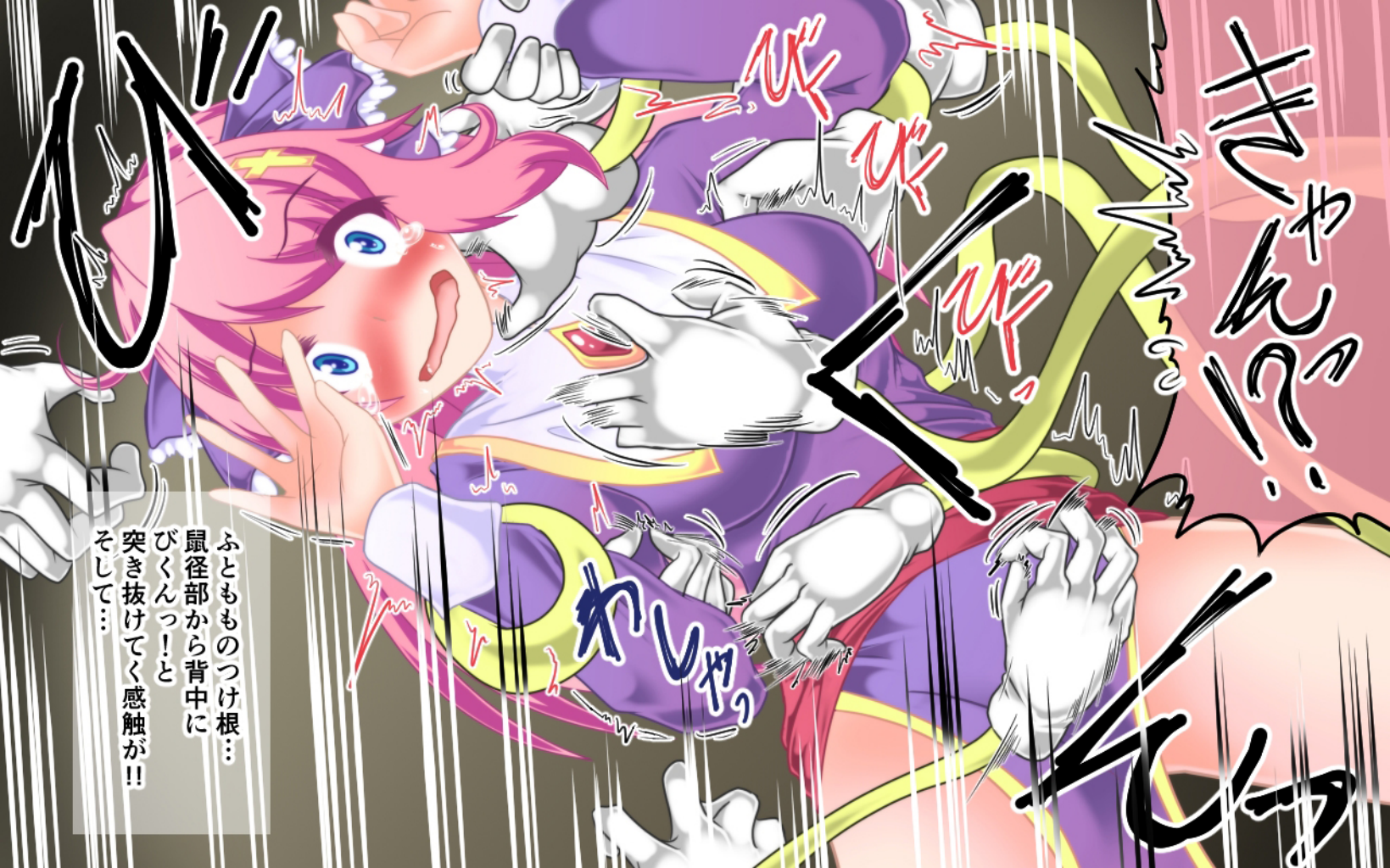
よ、よしっ!!

太ももの手は跳ねのけ…!!

あれ?

にゅうう

思い切って移動したのが
功を奏し、身体中に
まとわりついてた
マジックハンドのうちの
いくつかを引き剥がす事に
成功しました。
でも、ほっとして
足を開いたのも束の間…



きゃん!!

びく

びく

びく

わしゃ

ふともものつけ根…
鼠径部から背中に
びくんっ!と
突き抜けてく感触が!!
そして…





もうちよつと、もうちよつと……

ほひゃん!!

あはははははは!!

コエ

諦めて!!いい、いい加減に……
いい加減

あきばはは!!

コエ

コエ

コエ

もうちよつと……
もうちよつと……
もう……ちよ……
あきばはは!!

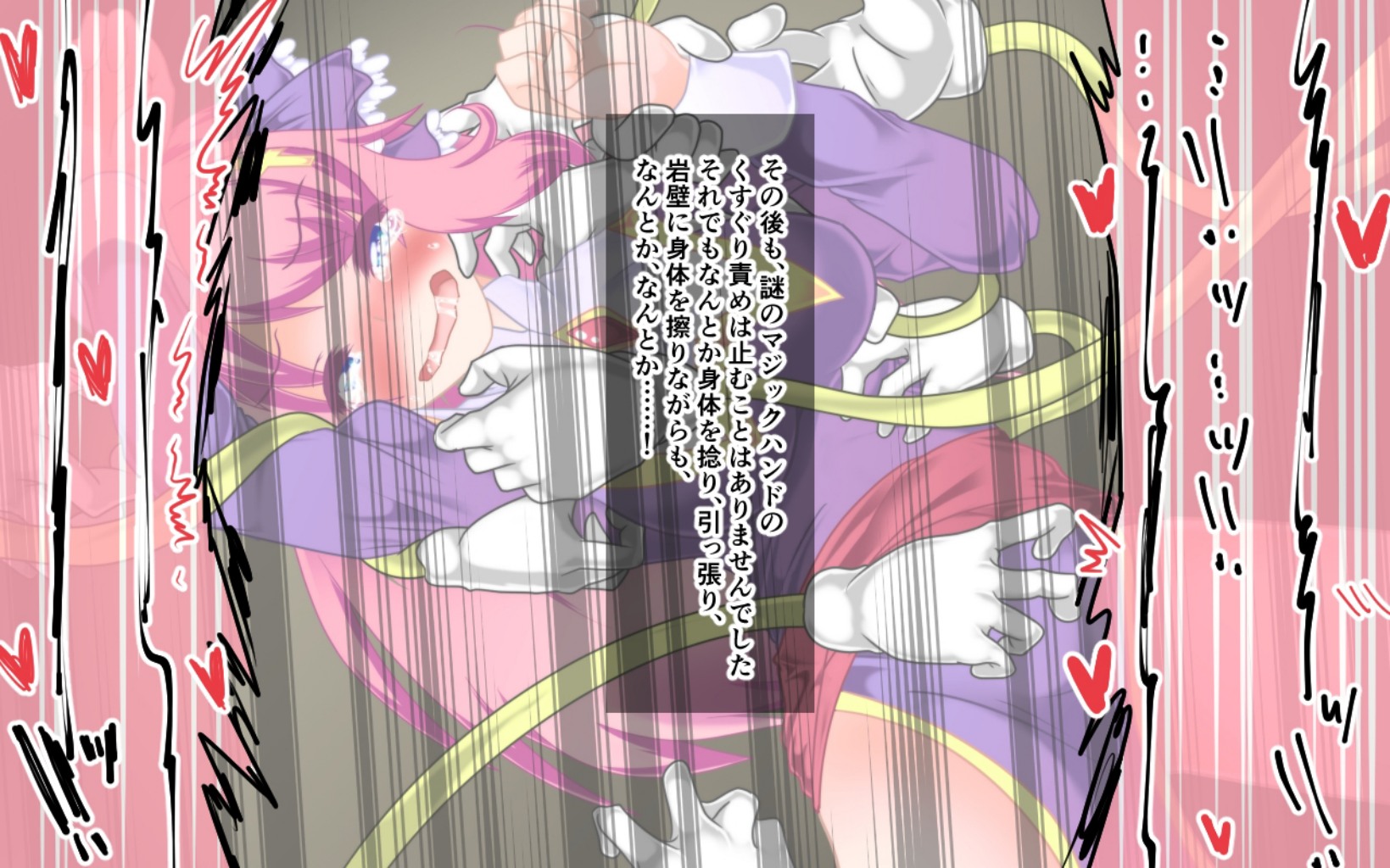


ひきまっ!
い、い、い、い!!

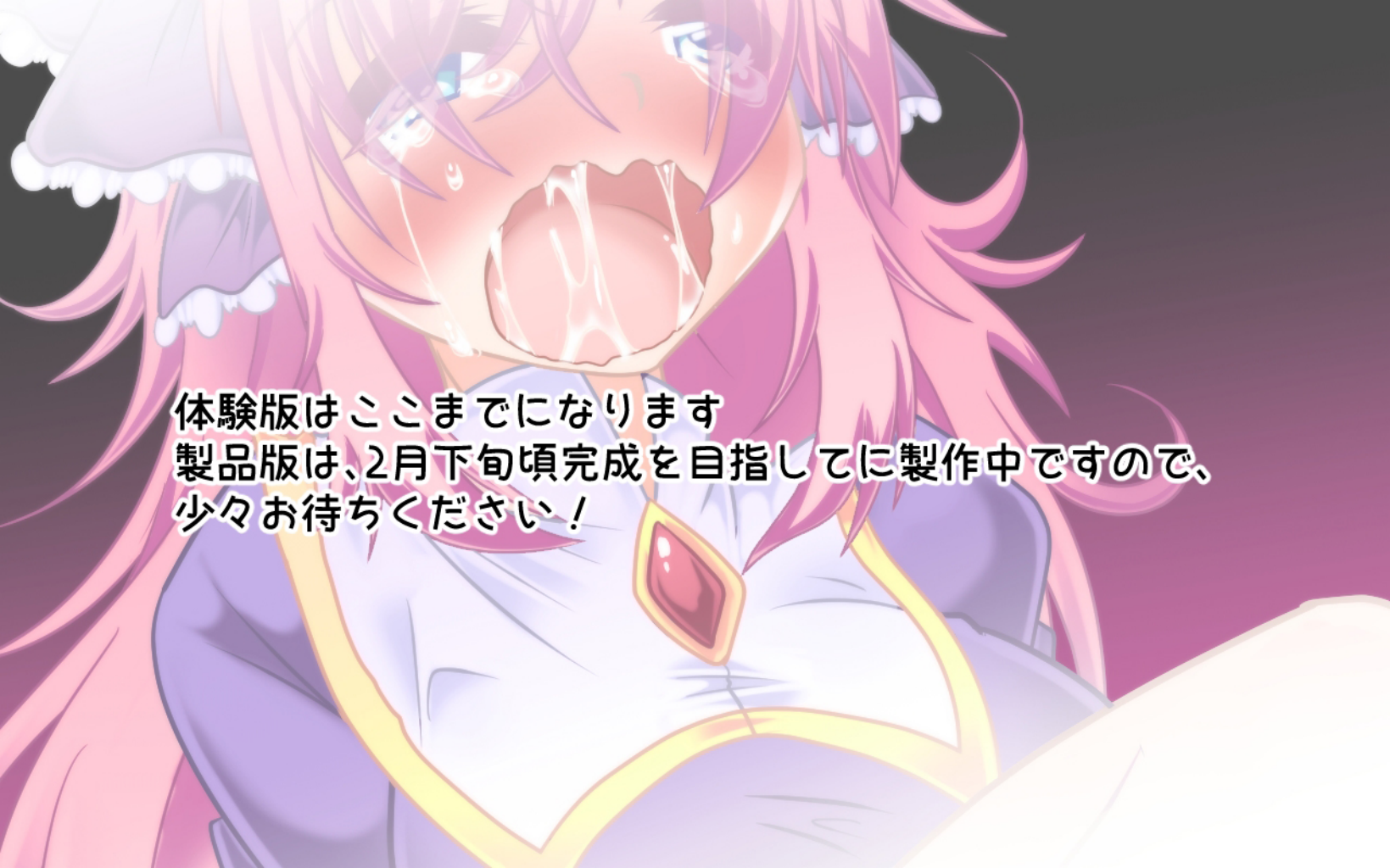
も、ちよ、とぎっ!!



それでも少しずつ近付く。向こう側……てか、ちゃんと近づいてるのかな？ 視界はマジックハンドのせいで見え辛い上に、頭をぶんぶんと降っちゃたりするせいで視線も定まらないんだけど……！！



その後も、謎のマジックハンドのくすぐり責めは止むことはありませんでした
それでもなんとか身体を捻り、引っ張り、
岩壁に身体を擦りながらも
なんとか、なんとか……！

A close-up illustration of a young woman with long, flowing pink hair and blue eyes. She has a distressed expression, with tears streaming down her face and her mouth wide open in a cry. She is wearing a light purple dress with a white collar and a yellow gem on the chest. The background is a dark purple gradient.

体験版はここまですなります
製品版は、2月下旬頃完成を目指してに製作中ですので、
少々お待ちください！